

令和5年度 第1回定例会

日時：令和5年7月13日（木） 14：00～16：00

場所：龍郷町りゅうがく館

参加機関：（別紙参加者名簿参照）

全体進行：小野（龍郷町障害福祉課）

協議進行：吉村（奄美病院）

※敬称略

会場 42名 オンライン 4名 合計 46名

1. 開会あいさつ

龍郷町保健福祉課（課長）
副会長 加藤寛之

2. 内容

（1）事業所紹介

オリーブの丘（生活介護事業所） 津村

（2）各部会からの報告

- ・ピア部会（大津：ぴあリンク奄美）
- ・精神部会（山下：大島支庁地域保健福祉課）
- ・相談支援部会（潤：星の園）
- ・子ども部会（座安：のぞみ園）
- ・地域生活支援部会（近藤：ぴあリンク奄美）

3. 全体協議

「第7期障害福祉計画への要望について」

① 計画の概要説明

中田（宇検村保健福祉課）

② グループワーク発表

◎1G（チャレンジサポート奄美、QOLEAD、カラフル、龍郷町社協、奄美市福祉政策課）

- ・不登校児の保護者がスムーズに相談する場所や窓口があるとよい。
- ・保護者が入院などした際に、緊急受け入れの施設が少ないのでそのような場所があると助かる。

◎2G（奄美市社協、オリーブの丘、大島郡医師会、大島支庁、笠利いきいき健康課）

- ・中途障害の若い方（40代くらい）の行き場がない。介護事業所などにも、若い人向けのプログラムがあればよい。
- ・サービスの偏りがある（就労Bは多いが、GHはない）
- ・施設が増えているが、スタッフの質が心配
- ・介護の老健施設のように、病院から在宅に行くまでの中間施設があればよい。
- ・職員不足、職員の高齢化への対応
- ・笠利地区にも療育施設が必要。

◎3G（奄美市社協、のぞみ園：相談、大島支庁、住用市民福祉課、龍郷町保健福祉課）

- ・家族が、県大会などに行く際に預かっていただける場所があればよい。

- ・夏季休業中のショートステイ預かりが 9 時からなので、親の出勤時間とのずれがあるそのずれを埋めるような送迎サービスなどがあればよい。
- ・住用地区に障がい関係の福祉サービス事業所がない。設置を促すことができないか。
- ・福祉に携わるマンパワーが不足している。福祉の魅力をみんなで協力して、伝えて、人を集める努力が必要。

◎4G（オリーブの丘、あゆみ、大島教育事務所、のぞみ園、スターズ、龍郷町子ども子育て
応援課）

- ・子どもの事業所を利用したい人も多いが、職員不足で、受け入れられない現状がある。
- ・人事育成について、市町村はどのように考えているか知りたい。
- ・学校と連携を取りたいが、うまくいかないことが多い。各学校の理解の差がある。
- ・学校現場でも、困り感のある子どもは増えているがどのように対応していけばよいか悩みがある。
- ・事業所の情報が分からないので、市町村として、わかるようなパンフレットがあればよい。

◎5G（ゆらい、QOLEAD、奄美病院、奄美市福祉政策課、大和村保健福祉課）

- ・ヘルパーの人材不足により、ニーズに対応できていない。
- ・現在ヘルパーを利用している方もゴールを決めて、次の方が利用できるような支援。
- ・福祉用具の貸与について、障がいは、身障以外での購入、レンタルのサポートがない。サポートや支援が受けられたら。
- ・65 歳以上の人の行き場として、介護保険分野でも「働く」という機会を提供できる場があったらよい
- ・地域とのつながりが難しい。繋がるための窓口を。民生委員がいるが、いない地域もあるため、民生委員が一人で抱え込まないように、支える仕組みづくりを。
- ・いろんな機関や団体に、障害理解を促すための研修を継続して行っていけたら。
- ・断酒会など自助グループの設置を。

◎6G（なかぼつ、なのはな園、ハローワーク名瀬、育成会、奄美市社協、ひより）

- ・65 歳以上の障害福祉サービス利用についてニーズがあるが、ヘルパー不足で対応できない。
- ・買い物などの簡単な仕事はボランティアを活用できないか
⇒地域の理解や、1 対 1 の関係性の中で難しさがある。
- ・在宅ワークではパソコン貸与はあるが、ネット環境が個人負担の為、補助ができないか。
- ・送迎の範囲外から事業所利用する方への公共交通費の補助ができないか。
- ・災害時には、地域内の協力体制が必要。

◎7G（星の園、宇検村保健福祉課、大島郡医師会、身障協、介護支援専門員協議会）

- ・ヤングケアラーの対応も盛り込んでいかなければならない。
- ・人材不足もあり、対応ができないことがある。
- ・歯科診療が在宅でできるので、情報共有を
- ・緊急時災害時対応として福祉避難所を数値化できないか。介護保険のように、通所

施設に宿泊できるような体制ができないか。

◎8G（オンライン：ティダワークス、奄美病院、奄美市高齢者福祉課、健康増進課、保護課）

- ・健康診断について、支援者が、サポートしているが、利用者はどのような検診をするのか不安がある。イラストなどで分かりやすく説明してはどうか
- ・福祉サービスにおける高齢化の問題。（福祉サービスが合わなくなってくる）
- ・自殺未遂の相談が増えてきている。悩みがある時にどこに相談してよいか分からない。支援者もどのように対応してよいか分からない。研修などをおこない、支援者の対応力を挙げていく必要がある。

4. 閉会（まとめ及び挨拶）

奄美市福祉政策課（課長）

会長 麻井庄二